

風連本町地区第一種市街地再開発事業が始まります



風連市街地は、地区にある建物の老朽化と同時に、購買力が流出し、市街地商店の賑わいと活力が減少しています。平成20年度から始まる事業で、地区を再生し地域の活性化を促すことと、にぎわいのあるコンパクトなまちづくりを目指します。

歯止めのかからない高齢化と人口減少、そして市街地の衰退。風連地区では、既に平成11年から対策が協議されていて、平成17年度には中心市街地活性化基本計画を国に提出。平成18年3月には都市再生整備計画の事業認可を受けて平成18年度から事業に着手しています。今後、施行認可の申請を行い事業が始まります。

市街地再開発事業とは？

2階建てまでの木造建築物や老朽化した建物を、3階建て以上に立て替えて、空いた土地を有効利用し地区を再生する事業です。「名寄市風連本町地区第一種市街地再開発事業」は、地区内の土地、建物の所有者から委任を受けた民間会社が行うこととなります。風連地区の再開発事業は「株ふうれん」(市が出資する第3セクター)が施行者となります。

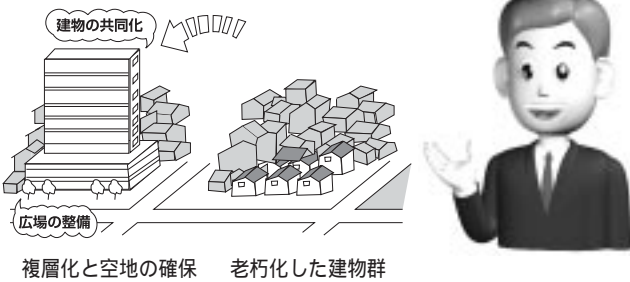
事業の内容は？

対象地区を4ブロックに分け、Aブロックには、JA道北なよろ本所、地域交流センター(集会施設)、Bブロックには、商店・飲食店・住宅・賃貸住宅、Cブロックには、一般住宅・事務所・店舗、Dブロックには、診療所・健康施設・店舗が再建築されます。詳しくは完成イメージ参照

事業費の内訳は？

全体の事業費は約24・4億円で、民間建物を再建築する再開発事業13・3億円と公共施設を新築する施設取得事業11・1億円に大きく区分することが出来ます。(グラフの【事業費の区分】負担額についてはグラフの【負担額の内訳】のとおりで、全体では市負担額が13・2億円、国負担額8・8億円、2・4億円が民間負担額となります。関連する事業費のうち、市では平成18年度に推進計画を策定(決算額659万9千円)。

再開発事業のイメージ



複層化と空地の確保 老朽化した建物群

再開発事業費24.4億円の内訳

【使途別事業費】

調査設計費 土地整備費等 2.6億円 4.6億円	建築工事費等 17.2億円
--------------------------------	------------------

【事業費の区分】

再開発事業費 13.3億円	施設取得事業 11.1億円
------------------	------------------

【負担額の内訳】

国負担額 4.4億円	市負担額 6.5億円	民間負担額 市負担額 6.7億円	国負担額 2.4億円
---------------	---------------	------------------------	---------------

再開発Q&A

問 どうして、市や国が補助するの？
答 再開発によって、地区の街並みや生活環境、公共施設の再配置での利便性の向上など、まちづくりや地域づくりに大きく貢献できるからです。

問 いつから工事が始まるのですか？
答 平成20年度から平成22年度まですべての工事が終わる予定です。

問 平成19年度に1億8684万2千円を予算計上しています。市街地再開発事業には、まちづくり交付金事業など国の補助制度を活用しています。また、事業形態は民間活力で整備された施設を市が取得することになります。